



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1788  
2015年  
11月5日

国労加入を  
大胆に訴えよう

# 国労加入歓迎会

大井町駅  
分会

国労新橋支部大井町駅分会は、九月二九日に品川駅前で、国労加入した小池さんの歓迎会を開催した。小川分会長から「分会としてこんなに喜ばしいことはありません。今日はおおいに飲みましょう」とあいさつがあり、続いて、堀内書記長から加入の経緯が話され、元々いた渋谷地区の仲間が、「国労に帰ってこいよ」と長年言い続けてきた事、上野地区でも国労の仲間が交流を続けていたところ、三月に上野駅から大井町駅に異動になったところで改めて声をかけ、八月に国労復帰を決意してくれたと報告がされた。

大井町駅分会小林さんから「組合員が一人でも多くなれば、大井町駅も良くなると思います」と乾杯の発声がされたあと、新橋支部・石井書記長、東日本本部・伊藤業務部長からあいさつがされ、東京地本・佐藤組織部長からは「拡大と言葉にするのは簡単ですが、大変な努力が必要なのは承知しています。しかし、努力が実れば、今日のような日がやってきます。これからは全力で取り組んでいただくことをお願いします」とのあいさつがされた。小池さんからは「転勤して来て、すぐに飲み会を設定してくれた。すぐ国労の加入書を渡された。国労は仲間づくりだと思ふ。他の人の復帰に自分も頑張ります」とのあいさつがされ、和やかな歓迎会となった。

## アスベスト健康管理手帳

### 取得の取り組み 大宮工場支部

大宮地区本部・大宮工場支部は、「アスベスト健康管理手帳」取得の取り組みを進めてきたが、申請者全員の交付を受け、九月六日に『アスベスト健康管理手帳取得慰労会』を開催した。

泉田委員長から「神奈川労災職業病センターの池田さんから協力したい旨の話をいただき、この取り組みがスタートしました。手帳申請者には調査で何度も会議に集まっていたにもかかわらず、短期間で、ほぼ申請した内容で承認されたことは、極めて大きな成果で、ご協力いただいた方々に感謝を申し上げます」とあいさつがされた。増田書記長からは「今回初めて貨物で手



佐藤組織部長から国労グッズを贈呈

**新春マラソン大会**  
2016年 1月9日(土)  
開会式 10:30  
皇居1周 又は 2周  
申し込みは  
各地区本部・支部へ

相談に応じながら、必要な援助をしていく。引き続き支部は、手帳取得希望者に対し

## 2015年度 新役員 紹介

執行委員長  
鎌田 博一  
総括

執行副委員長  
山田 博樹  
総括補佐  
企画担当  
業務担当

書記長  
松川 聡  
企画部長  
総務部長  
業務部長

執行委員  
田中 克幸  
財政部長  
企画担当  
業務担当

執行委員  
佐藤 敏行  
組織部長  
企画担当  
教宣担当

執行委員  
常盤 達雄  
教宣部長  
組織担当  
調査担当

執行委員  
中澤 和夫  
政治部長  
組織担当  
法対担当

執行委員  
恒本 肇  
法対部長  
業務担当  
組織担当

執行委員  
横倉 一夫  
調査部長  
業務担当  
政治担当

執行委員  
岡野 嘉明  
福対部長  
組織担当  
教宣担当

執行委員  
岸本 靖夫  
教宣担当  
業務担当  
組織担当

執行委員  
岡田 直之  
業務担当  
教宣担当  
調査担当

会計監査員  
広瀬 裕二

会計監査員  
吉田 茂

会計監査員  
堀井 秀弥

青年部長  
中嶋 健太  
青年部総括

青年副部長  
木村 洋希  
総括補佐

前執行副委員長  
稲荷 靖

前組織部長  
小澤 一雅

退任された執行委員

# 東京湾に歓喜大会



東京地方本部は毎年恒例の海づり大会を、一〇月三日に開催した。

当日は、朝七時に川崎市の浜川崎駅に近い船宿「つり幸」に集合しすぐ出船。波も穏やかで釣り日和だった。京浜工業地帯の間を抜け、ベイブリッジを横目に見ながら、横須賀の沖でつり大会開始。つり針を下せば、すぐにアタリが来る状態で、大きなアジを次々と釣り上げ、その度に歓声が沸いた。

今回は、アジ以外の外道の魚はほとんど釣れず、何人かサバやハゼがかかる程度。その後場所を変えながら一五時頃まで釣りは続き、全員が笑顔と重いクーラーボックスとともに川崎へ戻り、今年海づり大会は終了した。



# せよなら原発！

代々木公園

九月二三日代々木公園において、「せよなら原発」一千万人署名市民の会主催による「九・二三さようなら原発さようなら戦争全国集会」が開催され、全国から多くの市民や労働者二万五千名が結集、東京地方本部からも多くの組合員が参加した。

主催者あいさつでは落合恵子さんや作家の澤地久枝さんらがあいさつに立った。落合恵子さんはいつもの語りかける口調で、多くの国民の声を無視し、暴走する今の安倍政権を厳しく批判した。

引き続きトークでは、福島や川内における原発関連の裁判で闘う当事者や、避難生活を余儀なくされている方々からの訴えが続いた。さらに、戦争反対の立場からはSEALDsの奥田愛基さんが登場し、会場が盛り上がった。その後、沖縄や韓国、フランスなどからの連帯のメッセージも読み上げられた。

閉会のあいさつでは、大江健三郎さんが、来年三月にはさらに規模の大きい集会を開催するとの発表もあり、闘いの継続性を



# 軍事力強化反対に結集 横須賀・横田

原子力空母母港化反対集会

神奈川県平和運動センターと三浦半島地区労は、一〇月二日に横須賀ヴェルニー公園において「一〇・二原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備反対！母港撤回を求め全国集会」を開催し、東京地方本部からも神奈川県本部の組合員を中心に多くの仲間が参加し、全体では二八〇〇人が結集した。

集会では神奈川県平和運動センター・福田代表から「戦争法反対の闘いを通じて多くの国民が安倍政権に怒りを爆発させた。今回の原子力空母の入港は、この延長線上にある。入港を撤回させよう」などのあいさつがされ、各団体からのあいさつや、原子力空母母港問題市民の会や、厚木基地爆音防止期成同盟などから現地報告も行われた。集会のあと、デモ行進に移り、横須賀市内を配備反対、戦争法廃案などを市民に訴えた。

オスプレイ配備反対集会

東京平和運動センターと三多摩平和運動センターは一〇月二五日に、福生市・多摩川中央公園において「オスプレイの横田基地配備に反対する一〇・二五東京集会」を行い、東京地方本部からも、八王子地区本部の組合員を中心に多くの仲間が参加し、全体では二二〇〇人が結集した。

平和運動センター・佐藤議長が「普天間基地のMVF22オスプレイよりも、事故率が三倍を超えるCV22オスプレイの横田基地導入が表明された。周辺空域での飛行訓練、また、自衛隊射撃場での射撃訓練も想定される。オスプレイを積み込もうとしている原子力空母ロナルド・レーガンの横須賀母港化撤回、厚木基地での飛行差し止めなど、オスプレイ導入を許さない闘いを進めよう」と訴え、横田基地公害訴訟原告団・福元団長からは「オスプレイは、事故率が年々上がっている欠陥機。横田基地はこの三年位飛行回数が増えている。指令部と、輸送基地という性格から、訓練基地の性格も持ち始めている。周辺は住宅地、幹線道路も多い。オスプレイの導入は認められない」などの訴えを行った。閉会のあいさつが、三多摩平和運動センター・田中議長(国労八王子地区本部委員長)からされ、デモ行進に移った。



横須賀 ヴェルニー公園



オスプレイ反対集会



横田基地前

## 「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days》

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円
診断給付金	上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと 治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率1倍) <small>(更新後の保険期間を含め通算600万円まで)</small>
抗がん剤治療給付金*	

\* Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート 訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

©詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

## 「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)

新生きるためのがん保険 Days Aプラン 入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>

アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F  
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

<引受保険会社>

アフラック 東京第二法人営業部  
〒163-0466

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

コールセンター 0120-5555-95